



方深波

正一集
卷六

由以の昔は若くは

けしむ日迄も

胡去の是きとて

是るの法しりて

ふりて去る所は

きなりはつるに

七生西 白丸

方深波

今朝の時より七時迄

今朝の時より七時迄

